

1 事業内容

団体名	一般社団法人くしろまちづくり研究所
事業名	くしろとおきプロジェクト
課題テーマ	地域経済の活性化
事業目的	人・交通・文化・歴史が交差する西部大楽毛で、歴史・文化的資産を、創造の源泉として捉えなおし、次世代の地域モデルの創出を目指す。地域の住民や学生が参加しやすいスケール感の大楽毛でイベントを開催することにより、外部人材との連携を目的とする。「クリエイター誘致」「食文化の発信」「次世代人材の共創」という横断的なアプローチで再編し、地域活性化の新たな切り口としての「映像文化」を創出し、関係人口を目的とした、二地域拠点の促進を含む地域経済の活性化を目的とする。
事業内容	① 釧路ポニー輓馬大会実施 ② Kushiro Short Film Contest 開催 ③ くしろごちそうマルシェ&ご褒美フェス開催
事業展開	① このイベントは単なる地域イベントではなく「関係人口を軸にした地域再編モデルを目指します。 そのため、今後の事業展開と波及効果は ①文化事業 → ②産業化 → ③関係人口・拠点形成 の3段階で考えています。ポニー輓馬大会は、単なるイベントではなく、設計次第で「馬文化×観光×人材育成」型の地域創生事業への昇華ができます。特に大楽毛の歴史(馬産業・物流拠点)と接続できるため、地域資源を映像化し、関係人口と産業を生む装置としてストーリー性が強く、継続事業化に適しています。 ② 撮影を伴う滞在型コンテンツになっている点が強く、観光・関係人口・クリエイティブ産業の3軸に展開できるポテンシャルを感じました。今後は単発イベントから「継続的な地域創生の仕組み(エコシステム)」を模索中です。 ③ 釧路・阿寒・音別の地域の食をコンセプトに取り組み、釧路サババーガーは期間中150食完売しました。サババーガーはサバの不良などもあり継続が厳しくはありますが、馬肉や他の魚や食材で新たな釧路ならではのメニューを試行中です。
成果目標の達成状況	① 釧路ポニー輓馬大会参加30頭 来場者数300名 達成率100% ② Kushiro Short Film Contest 参加者道内外10組 多成立100% ③ くしろごちそうマルシェ&ご褒美フェス参加店10店舗 &参加者300名

	参加店達成率50%/参加人数達成率100%
波及効果の達成状況	<p>くしろにとっておきプロジェクトを通じての波及効果</p> <p>1) 釧路ポニー鞍馬大会は、高専留学生、支援施設や高齢者の参加により『見るだけで関わる体験型』イベントとして社会包括の波及効果が生まれました。また、道内各地の馬主や参加者が釧路での宿泊や飲食店などを利用する事による経済効果が生まれました。</p> <p>2) Kushiro Short Film Contest では、釧路市以外からの参加者が多く、関係人口の創出の波及効果を感じられました。</p> <p>3) くしろごちそうマルシェ&ご褒美フェス開催により、若い世代のアイデアが生まれ、地域の企業とのコラボ企画や釧路ならではのメニュー作りを行うきっかけとなりました。</p> <p>4) くしろにとっておきプロジェクトに参加した学生、研究者や東京の企業から、アドバイスや提案を頂いています。</p>
実施体制	一般社団法人くしろまちづくり研究所
連携した市担当課	無・ 有 (総合政策部 市民協働推進 課・室) (マーケティング戦略 室)
連携した市担当課が果たした役割 (※有の場合)	市民協働推進課→二地域居拠点アドバイス・PR マーケティング戦略室→ふるさと納税返礼品開発アドバイス

2 支出決算書と支出内訳

(収入)

費目	決算額 (円)	内訳
輝くまちづくり交付金	100,000	
参加料	150,000	登録料5,000×30
寄付・協賛	500,000	協賛
売り上げ	75,000	サブバーガー500×150
自己資金	6,339	
合計	831,339	

(支出)

費目	決算額 (円)	内訳
対象経費		
謝礼	50,000	ポニー審判・ゲスト謝礼
役務費	99,000	新聞広告

印刷製本費	55,000	ポスターチラシ・プログラム印刷費
使用料・賃貸料	119,132	会場・レストルーム他
委託料	256,080	音響他 (201,080) A3 ポスター・プログラムデザイン料 (55,000)
消耗品費	9,727	
小計	588,939	
対象外経費		
食糧費	114,400	
人件費	128,000	
小計	242,400	
合計	831,339	

「